



HP Z400 Workstation

メモリコンフィギュレーションガイド

この資料の目的は、HP Z400後期型ワークステーション（2010年リリース）のメモリコンフィギュレーションの概要を説明したものです。また、最高のメモリパフォーマンスを引き出すための推奨構成を示します。



図1. HP Z400後期型 Workstationの最適なメモリ構成
(下記の構成にはCTOで構成できるすべての構成は含まれていません)

	DIMM1	DIMM2	DIMM3	DIMM4	DIMM5	DIMM6	Configuration rating
1GB	1GB						Good
2GB	1GB		1GB				Better
3GB*	1GB		1GB		1GB		Best
4GB*	1GB	1GB	1GB		1GB		Good
6GB	1GB	1GB	1GB	1GB	1GB	1GB	Best
8GB	2GB		2GB		2GB		Good
12GB	2GB	2GB	2GB	2GB	2GB	2GB	Best
16GB	4GB		4GB		4GB		Good
24GB	4GB	4GB	4GB	4GB	4GB	4GB	Best

32ビットオペレーティングシステムの場合、Z400後期型のメモリチャネルが3チャネルのため、3GBメモリ構成に留めるのが望ましいです。4GB目はオペレーティングシステムは、すべての領域が使用できないため、使用可能メモリ量と、コストとの最適なバランスが3GBになります。

サポートするメモリ

- HP Z400 Workstationでは、Unbuffered 1GBシングルランク、2GBと4GBのデュアルランクPC3-10600E 1333MHz ECC DIMMをサポートします。
- 搭載しているCPUにより、メモリの動作クロックスピードが決まります。
例) システムに1067MHzで動作するCPUを搭載している場合、メモリの持つ最大動作スピードに関わらず、メモリの最大動作スピードは1067MHzになります。

ベストパフォーマンスで使用するには

HP Z400後期型 Workstationのメモリコントローラは3チャネルで構成されています。下記のルールはベストなパフォーマンスでご使用いただくために必要なルールです。

- メモリは3枚1セットで構成する
- 1チャネル構成でパフォーマンスがでない場合は、最小(1GB)のDIMMを使用することで、パフォーマンスを向上させることができます。
例えば、2GBメモリ構成の時は、2枚の1GB DIMMを使用してください。(1枚の2GB DIMM構成は推奨しません)

メモリ構成順序

システムメモリをインストールする際には、最初のメモリはCPUから一番遠いDIMM1にインストールして下さい。それから、CPUに向かって黒いスロットに順番に入れてください。黒いスロットが埋まったら、今度はCPUから一番遠い、白いスロットにCPUに向かって順番にインストールして下さい。

図2. HP Z400後期型 Workstationのメモリのインストール順序

